

平成 16 年度 社会実験実施地域一覧（追加実施地域）

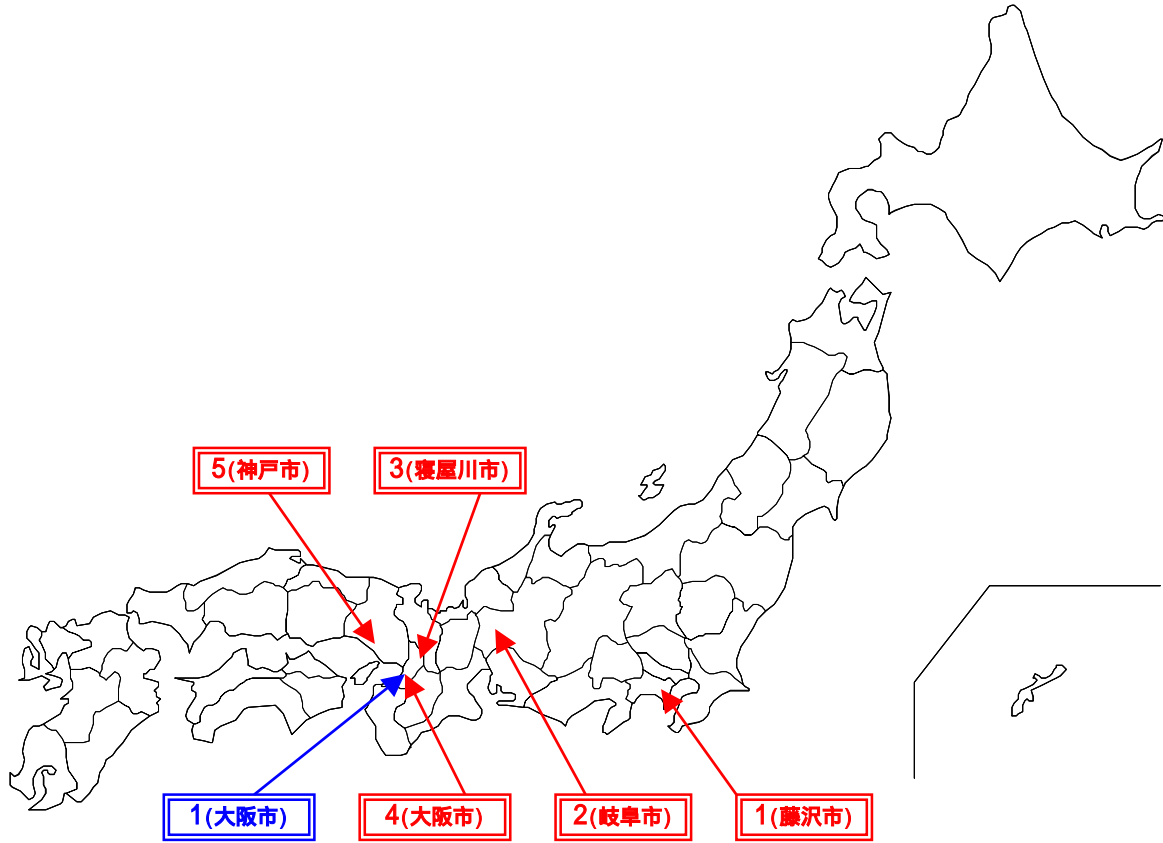
(1) オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験

	実施地域	実験の概要
1	神奈川県 藤沢市	【市街地活性化を目的としたオープンカフェの運営実験】 藤沢駅前のペDESTリアンデッキにおいて、駅北西部商店街との回遊性向上、藤沢駅自由通路の歩行者混雑解消のため、来街者が休息し、行動範囲を分散させられるようにオープンカフェを設置し、その有効性や課題について検証を行う。また、併せて、観光・生活関連のインフォメーションセンターを設置し、周辺商店街等への誘導を図る。
2	岐阜県 岐阜市	【鵜飼屋地区道路空間にぎわい創出による地域活性化実験】 金華山・長良川地域において、観光・交流人口の増加をはかるため、県道を歩行者天国として活用し、オープンカフェや屋台などを設置し、休憩スペースや憩いの場とすることで、にぎわい空間の創出を図る。
3	大阪府 寝屋川市	【水と緑と自転車が似合うおしゃれな駅前の賑わいづくり】 大阪市に隣接する北河内地域の住宅市街地において、商店街の活性化や駅前空間の持続的な美化活動につなげるために、オープンカフェなどを実施し、その有効性について検証を行う。また、放置自転車解消や自転車走行環境の向上と駅周辺の商業活性化のため、レンタサイクルや自転車利用のルール化を実施し、その有効性や課題について検証を行う。
4	大阪府 大阪市	【御堂筋にぎわい空間づくり社会実験 ～道活用による地域主体のまちづくり～】 大阪のメインストリートである御堂筋とその周辺において、民官協働の持続的なまちづくり組織を形成し、迷惑駐輪対策や環境美化活動を行う。このような活動をアピールするため、道路空間活用のイベントを実施する。
5	兵庫県 神戸市	【三宮地区道路活用実験】 地域と行政で協働のまちづくりを進めている三宮中央通り等において、賑わいの創出や地域活性化を図るため、広幅員の歩道上でオープンカフェを実施し、その有効性や課題について検証を行う。

(2) 路上工事縮減等に関する社会実験

	実施地域	実験の概要
1	大阪府 大阪市	【 ^{ことひ} 五十日における車線規制を伴う工事の規制（中止）実験】 交通渋滞が増大する「五十日（取引先間の支払い日である、月のうち『五』、『十』がつく日）」の昼間に行われる路上工事を原則中止することにより、渋滞緩和に効果や有効性、課題等について検証する。

平成 16 年度 社会実験実施地域一覧
(今回追加地域のみ)



← オープンカフェ等地域主体の道活用

← 路上工事縮減等